●生活・法律相談は
◆市議会議員
いぬい紳一郎
◆市議会議員
徳増きよ子
◆市議会議員
小田桐たかし
◆市議会議員
植田　和子
日本共産党 流山市議団
http://www.nagareyama-jcp.jp/
inui-jcp-toukatu@nifty.com

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2018年新春号
第194号
編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688　TEL (7157) 6140
流山市議会事務局
TEL (7158) 1111

くらしと平和を脅かす政治の転換を！

2018年 迎春

日本共産党

昨年の総選挙では、「もりかけ」問題など、安倍内閣への国民の厳しい批判がありつつも、野党の分断により与党が3分の2の議席を占めました。しかし、小選挙区制のマジックによるもので、アベ政治への国民の批判は、依然大きいものがあります。

今年は、憲法9条改憲が大きな争点となります。改憲阻止のために力を合わせましょう。また、社会保障改悪や増税から国民の暮らしを守る政治の実現は待ったなしです。「暮らしを守る防波堤」として力をつくします。

昨年、市政50年を迎えた流山市は、TX沿線開発で街が大きく変貌。急激な人口増に行政が追いつかず、保育園の待機児、過密・過大な学校、地域間格差等に批判も高まっています。

今年も、日本共産党は、開発優先の市政を厳しくチェックし、市政アンケート等でお寄せ頂いた皆様の声を市政に反映します。市政アンケート等でお寄せ頂いた皆様の声を市政に反映し、くらし・福祉優先の政治実現に全力をあげてまいります。



「しんぶん赤旗」提供

全国で3000万署名への協力を訴える街頭宣伝が行われています。

2017年の実績

①小児救急医療機関への助成金を増額
②10月から産後ケアを実施
③保育士の処遇改善として月額2万8000円の補助実現
④学童クラブ支援員の処遇改善
⑤小学校3年生までのクラス定員を35人とし、少人数学級一歩前進
⑥就学援助の中学校入学準備金が入学前支給に。さらに、小学校入学準備金を平成31年3月支給に向けて準備
⑦おおたかの森小中学校のエアコン設置へ
⑧江戸川台小学校の洋式トイレ増設
⑨新設中学校建設を表明
⑩学習支援、平成30年度実施に向けて無料塾に相当する事業を検討
⑪商店会街路灯、平成30年度から市で維持管理することに
⑫学校給食への市内農産物活用を拡大
⑬消防職員の定数拡大
⑭保健師増員にむけた取り組みを促進

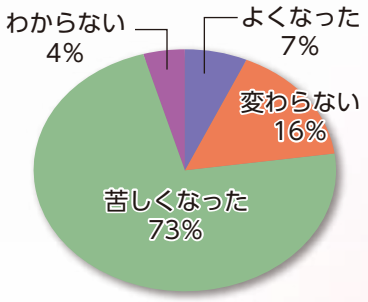
アンケートへのご協力ありがとうございます。まだの方はご協力お願いします。

中間報告

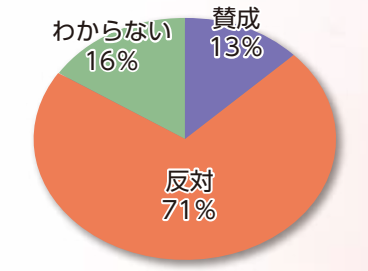
日本共産党は現在、「くらしのアンケート」用紙を配布し、これまで500通の返信がありました。中間報告はグラフの通りです。

アベ政治を反映するように、今のくらしについては「苦しくなった」が半数を超え、その要因は、「物価が上がった」「医療費が増えた」が上位をしめています。

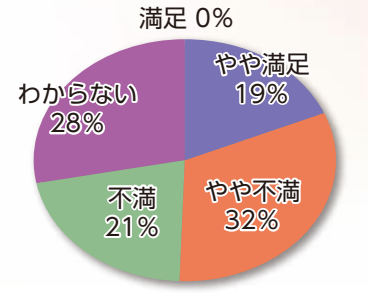
今のくらしについて



憲法9条改悪について



市政について



会派	日本共産党				流政会								自由民主党					市民クラブ					公明党						
議員名 ○賛成　×反対　－欠席 ※議長は表決に参加しない。	乾 紳一郎	小田桐 仙	徳増記代子	植田 和子	森 亮二	青野 直	笠原 久恵	近藤 美保	坂巻 儀一	野田 宏規	大塚 洋一	石原 修治	根本 守	中村 彰男	海老原功一	中川 弘	加藤 啓子	藤井 俊行	西川 誠之	楠山 栄子	森田 洋一	西尾 段	秋間 高義	斉藤 真理	戸部 滋	野村 誠	菅野 浩考	阿部 治正
市税等納付コールセンター設置を含む補正予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×
おおたかの森ホールの設置管理条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×
高齢者や障害者への郵便投票制度等の改正を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○
小選挙区制度廃止など選挙制度の改革を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○

市民を大切にする市政に　日本共産党


市議会議員
いぬい紳一郎


市議会議員
小田桐たかし


市議会議員
徳増きよ子


市議会議員
植田和子

政権中枢と官僚による「忖度」政治に批判が集中した昨年。流山市でも、おおたかの森地区の新設小学校では、子どもたちや住民の願いを脇に置き、行政の都合が優先される事に…。おおたかの森駅北口の音楽ホールは「誰のための施設なのか」が問題です。日本共産党は、次々と露わになる開発優先の歪みを、住民の立場で厳しくチェックしています。

情報漏えい、電話による取りたて激化 行政窓口も民間委託化

４月から、市税等納付コールセンターが民間委託され、委託先労働者による電話「催告」が行われることに…。

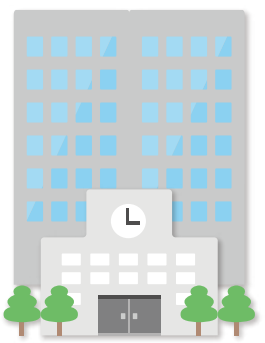
これまで当局は、税・保険料の徴収は「公権力の行使」にあたり民間委託はなじまないとしてきました。公務員には「守秘義務」がありますが委託先労働者にはなく、国会でも、「情報漏えいのリスクが高まる」と指摘されています。

税や保険料の徴収は、医療・介護・福祉につなげる取り組みの一助になります。安易な民間委託をやるべきではありません。

教育

新設小1校でもマンモス校は解消できず

小中学校は12～18学級10学級!?学年運営は無理」との声が聞かれます。県教育界が効果を認めた少人数学級の取り組みが、小学2、3年生は35人、小学4～6年生は38人まで前進したのに、おおたかの森地域だけ国基準40人に戻す計画も。「歴史の逆戻り」との指摘も聞かれます。



日本共産党が3月に提案していた新設中学校は、12月議会で市長が表明しました。さらに、わが党は、区画整理区域内での新設小建設も提案しています。児童生徒のかけがえのない9年間を保障するために力を集めましょう。

小児救急

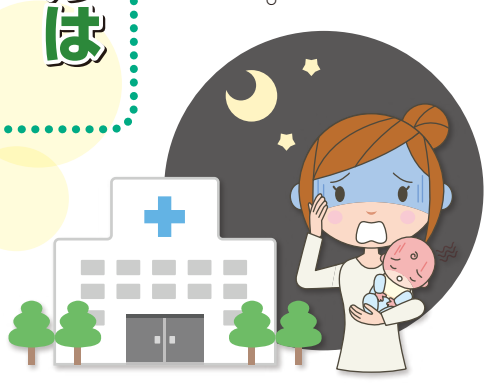
持続可能な小児救急体制に 急がれる行政の支援

「赤ちゃんが夜中に突然のけいれん」…こんな時に頼りになるのが小児救急病院です。

市内で365日24時間小児救急医療を展開している東葛病院では、人口増にともない小児救急患者も右肩上がり、4千人を超えました。

しかし、診療報酬が低く赤字構造、専門医の確保が困難など、事業の継続が難しくなっています。流山市の小児救急への補助金が今年944万円に増えましたが、近隣のどの市よりも少なく、とても『母になるなら、流山市』とは言えません。

持続可能な小児救急体制の維持のために、今こそ、行政による支援強化が求められています。



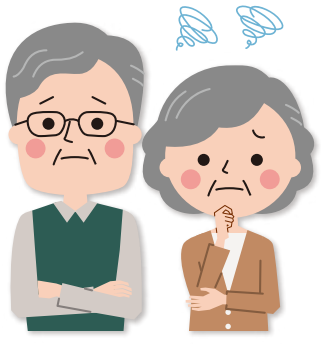
市有地活用

おおたかの森ホールは誰のための施設か

32億円投入して確保した市有地内に、駅前、新設、音響の良い…多目的ホール。しかし、市民ではなく、市外の方や営利企業のためのホールです。

そのため、市外の方や営利企業が利用しやすいように、市内外の公共施設よりも負担感を大幅に軽減。その分、市民の利用料は、市内公共施設よりも大幅に高く、様々な備品まで有料化です。さらに、維持費に対する市税投入も増やされ、公費の年間管理料はキッコーマンアリーナの1・6倍。1㎡当たりでは6倍と大幅増です。

芸能人が来るホールでの華々しい催しの一方で、「所得なし」「貧困の連鎖」等で悩む全市民に過大な負担…『公共』施設とはもう言えません。



身近な要求実現



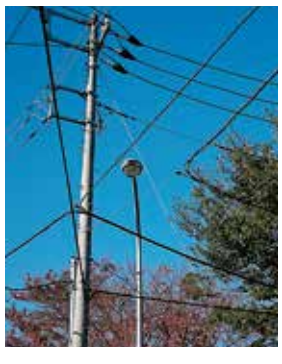
産後ケア事業が始まりました。
いぬい紳一郎



歯抜けでみすぼらしい植栽。補植が実現（東初石）
小田桐たかし



木谷工業前交差点改良へ、来年度予算で調査費計上
徳増きよ子



道路照明の修理、改善（美原3丁目）
植田　和子